

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )		財務会計上の短縮番号	6970
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5031	1	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	成人の集い開催事業
財務会計上の事業名	成人の集い開催事業
事業の対象(誰(何)を)	新成人
事業の手段[どうする(させる)ことで]	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う
事業の目的[どのような結果を得るか]	成人の日を迎えるにあたり新成人が一堂に会して成人になったことを自覚するとともに未来を祝福する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    平成10年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成    年度 ~ 平成    年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,600		1,564		1,211		1,250	
人件費(人・千円)		0.30人	1,260	0.40人	1,100	0.30人	1,080	0.70人	3,240	98.2%
内 訳	正職員	0.10人	840		0		0	0.20人	1,600	-
	再任用職員		0	0.20人	720	0.30人	1,080	0.40人	1,440	150.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20人	420	0.20人	380		0	0.10人	200	0.0%
	支出合計 A		2,860		2,664		2,291		4,490	86.0%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		2,860		2,664		2,291		4,490	86.0%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	参加率	%	67	66	67	
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	参加者数	人	742	718	729		750
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	3,854	3,710	3,143		84.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 新成人が運営することにより参加者の減少は少なく、自覚を持ってもらっている
---	---	--

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
参加記念品の単価を半減し、経費の緊縮に努めた。	他県などに見られるような騒ぎもなく、立派な成人式になっている
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
特に見当たらない	予算的に芸能人の費用が高くなっている

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )		財務会計上の短縮番号	6975
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5031	3	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	こども会育成事業
財務会計上の事業名	こども会育成事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで
事業の手段(どうする(させる)ことで)	地域が育むこども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う
事業の目的(どのような結果を得るか)	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和37年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成    年度 ~ 平成    年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		3,136		2,506		2,004		2,055	80.0%
内 訳	人件費(人・千円)	0.70人	4,620	0.70人	2,180	0.60人	2,160	1.00人	3,480	99.1%
	正職員	0.50人	4,200		0		0	0.10人	800	-
	再任用職員		0	0.50人	1,800	0.60人	2,160	0.50人	1,800	120.0%
	非常勤職員		0		0		0	0.20人	480	-
	アルバイト	0.20人	420	0.20人	380		0	0.20人	400	0.0%
	支出合計 A		7,756		4,686		4,164		5,535	88.9%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		7,756		4,686		4,164		5,535	88.9%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	単位こども会(小学生の加入率)	%	37	33	28	
成果指標 (2)		リーダー組織の登録人数	人	196	240	233		250
活動指標 (1)		会員(幼児、小学生、中学生)	人	2,279	2,177	2,096		2,100
活動指標 (2)		各行事の参加者数(ドッジボール等)	人	1,712	2,317	2,022		2,200

分析項目	計 算 式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	3,403	2,153	1,987		92.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	地域の子どもは地域で育てることを浸透させる
<input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
活動報償金等、各種報償金を減額し必要経費の緊縮に努めた。	学校と違う集団生活の楽しみを味わう
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
地域のこども会活動の維持	子どもの減少に伴い、加入者や育成者も減少することにより単位こども会も減少傾向にある

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 6980
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5031	4	担当部課名 教育部青少年センター	
			担当課長名 上 阪 斉	

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	少年団体育成事業
財務会計上の事業名	少年団体育成事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の青少年
事業の手段[どうする(させる)ことで]	スカウト活動に行事報償金を支援することにより団の活性化と団員の増加を図る
事業の目的[どのような結果を得るか]	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動に対し青少年の健全育成団体として運営、活動の支援を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時 限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		240		192		126		
内 訳	人件費(人・千円)	0.10人	840	0.10人	360	0.10人	360	0.30人	1,520	100.0%
	正職員	0.10人	840		0		0	0.10人	800	-
	再任用職員		0	0.10人	360	0.10人	360	0.20人	720	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,080		552		486		1,646	88.0%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		1,080		552		486		1,646	88.0%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	ボーイスカウト団員数	人	231	240	225		250
	成果指標 (2)	ガールスカウト団員数	人	86	91	95		95
D	活動指標 (1)	ボーイスカウト団数	団	6	6	5		5
	活動指標 (2)	ガールスカウト団数	団	2	2	2		2

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	180,000	92,000	97,200		105.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	青少年健全育成団体として世界規模で活動しているボーイスカウト・ガールスカウトであるが、近年加入者が減少している
<input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ボーイスカウトが1団減となる。	市からの援助は活動を行う上で役立っている
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
社会的ニーズは高いが加入者に結びつかない	各団での加入者増員の努力が必要

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 6990
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5031	5	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	ふれあいの場推進事業
財務会計上の事業名	ふれあいの場推進事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の新成人
事業の手段[どうする(させる)ことで]	市広報誌および青少年指導員の協力を得て小学校区で1~2名程度の新成人を募集
事業の目的[どのような結果を得るか]	新成人が市長との対談により市政および池田市の将来について、意見交換・交流をする場を提供
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度~平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)									
人件費(人・千円)		0.10人	360	0.10人	360	0.10人	360	0.20人	1,160	100.0%
内 訳	正職員		0		0		0	0.10人	800	-
	再任用職員	0.10人	360	0.10人	360	0.10人	360	0.10人	360	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		360		360		360		1,160	100.0%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		360		360		360		1,160	100.0%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	参加者数	人	12	12	15	
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	対談の開催(リハ-及び対談)	回	2	2	2		2
	活動指標 (2)	参加募集回数	回	2	2	2		2

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	180,000	180,000	180,000		100.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	市長と新成人が市政や思いに対する意見交換の場を提供することで、市に対する愛着や新成人としての自覚が芽生える
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特に変わっていない	市長と対談することにより、市に対する意識が高揚
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
新成人を機に自分の住んでいる町に愛着心(郷土愛)を持ってもらいたい	対談に参加する新成人が減少

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    )		財務会計上の短縮番号	7015
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5031	6	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	少年の主張開催事業
財務会計上の事業名	少年の主張開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市内小・中学校の児童・生徒
事業の手段(どうする(させる)ことで)	青少年指導員協議会の協力を得て、児童・生徒から募集した作文の1次審査を行う
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    平成3年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成    年度 ~ 平成    年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		202		133		59		
内 訳	人件費(人・千円)	0.30人	930	0.30人	910	0.20人	1,160	0.30人	1,360	127.5%
	正職員		0		0	0.10人	800	0.10人	800	-
	再任用職員	0.20人	720	0.20人	720	0.10人	360	0.10人	360	50.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	210	0.10人	190		0	0.10人	200	0.0%
	支出合計 A		1,132		1,043		1,219		1,447	116.9%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		1,132		1,043		1,219		1,447	116.9%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	発表大会出場者数		18	18	18		18
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	応募作品数		371	223	339		320
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	3,051	4,677	3,596		76.9%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 子ども達が自分の言葉で自分の思いを人前で発表することにより、社会のことを理解する。
---	---	---

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
審査員報償金、入賞者盾を減額し、経費の圧縮に努めた。応募者数が前々年度並みに回復した。	人前で発表することに自信が持てる
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
多感な小中学生が社会の中で何を感じているのかがわかる	自分の考えを作文にし、自分の言葉で発表することの楽しみを知ってもらう

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( )		財務会計上の短縮番号	6965
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5031	7	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	青少年指導員活動事業
財務会計上の事業名	青少年指導員活動事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の青少年および青少年関係者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	教育環境を浄化し、地域の教育力の高揚を図り、青少年および地域のよき相談相手として非行防止に努める
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田市青少年指導員要綱に基づき、青少年健全育成に努める
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和28年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		743		731		517		535	
内 訳	人件費(人・千円)	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	3,120	0.30人	1,520	173.3%
	正職員		0		0	0.30人	2,400	0.10人	800	-
	再任用職員	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.20人	720	0.20人	720	40.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	2,543		2,531		3,637		2,055		143.7%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	2,543		2,531		3,637		2,055		143.7%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	協議会活動の促進	回	32	28	21	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		部活動・校区活動	回	456	385	603		450
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	5,577	6,574	6,032		91.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	学校と地域の連携を深める橋渡しとして、中心的な団体として効果を上げている
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
活動報償金を3割カットし、必要経費の軽減に努めた。	非行防止活動の意識の高まり
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
非行防止活動の必要性	世代交代による人材確保

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 7030
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5031	9	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	池田子どもの居場所づくり推進事業
財務会計上の事業名	池田子どもの居場所づくり推進事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の小学生。安全管理指導員としての地域住民。
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市内11の全小学校で毎週水曜日の放課後を基準に活動する。各小学校毎に地域の大人が運営する運営委員会を設置し、大人の参加を呼びかけている。
事業の目的(どのような結果を得るか)	子どもの減少やゲームの普及など環境の変化に伴い、異学年と遊ぶことや地域の人々と接する機会が少なくなった。こうした状況を踏まえ、地域の大人が放課後の遊びを見守ることのできる環境を意図的・計画的に整備する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成16年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		5,519		5,123		5,005		5,156	97.7%
内 訳	人件費(人・千円)	0.40人	3,360	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.30人	1,960	97.6%
	正職員	0.40人	3,360	0.40人	3,280	0.40人	3,200	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0	0.10人	360	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		8,879		8,403		8,205		7,116	97.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		8,879		8,403		8,205		7,116	97.6%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	指導員(見守り)の参加者	人	6,336	5,961	5,815	
成果指標 (2)		参加者数(子ども)	人	41,333	38,001	36,016		38,100
D	活動指標 (1)	11校区での実施回数	回	550	550	549		550
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	16,144	15,278	14,945		97.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	地域の大人の見守りにより、子どもたちは放課後、安全で安心して遊ぶことができる。さらに地域の大人とのつながりが一層深まり、学校生活だけでは体験できない様々な活動を体験することができる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし。	地域の大人とのつながりができ、放課後学校で楽しく遊ぶ子どもの姿が見られる。また、様々な体験活動やイベントがあり、保護者からもキッズランドの活動が広く認知されている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
地域の大人(指導員)と子どもが、共にスポーツや文化活動等を実施しながら、子どもの安全・安心な活動場所を設けることができている。	より多くの子どもに参加してもらうための内容、体験活動の一層の工夫が必要。指導員の世代交代が進んでおらず、後継者不足が心配。保護者を含めた地域の大人への参加の呼びかけ。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 6880
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	1	担当部課名	教育部生涯学習推進課
			担当課長名	谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年の健全育成
第3期実施計画の事業名	児童館活動促進事業
財務会計上の事業名	児童館活動促進事業
事業の対象(誰(何)を)	市内の青少年に対して、学習機会の提供・自主活動の支援・体験活動、子育て支援・青少年健全育成の5事業を行なう。
事業の手段(どうする(させる)ことで)	・地域青少年健全育成事業の実施(土曜講座、文化スポーツ活動、自主活動等の実施) ・教室活動事業の実施(習字教室、ピアノ教室、珠算教室、英会話教室の実施)
事業の目的[どのような結果を得るか]	市内青少年の健全育成を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 19年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 20年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	地域青少年社会教育総合事業費補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		人	円	人	円	人	円	人	円	
	事業費(千円)		2,373		8,661		15,067		14,300	174.0%
	人件費(人・千円)	3.40人	15,080	2.00人	11,250	0.02人	164	0.02人	127	1.5%
内訳	正職員	1.00人	8,600	1.00人	8,400	0.02人	164	0.02人	127	2.0%
	再任用職員	0.80人	2,880	0.50人	1,800	0.00人	0		0	0.0%
	非常勤職員	0.80人	1,920		0	0.00人	0		0	-
	アルバイト	0.80人	1,680	0.50人	1,050	0.00人	0		0	0.0%
	支出合計 A		17,453		19,911		15,231		14,427	76.5%
財源	国・府支出金		1,411				767			-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		16,042		19,911		14,464		14,427	72.6%

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D		成果指標 (1)	事業参加人数の増加	人	13,541	12,994	15,146		13,500
		成果指標 (2)							
D		活動指標 (1)	事業実地回数の増加	回	985	945	985		985
		活動指標 (2)	実施事業数の増加						

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源 C ÷ 活動指標 D	円	16,286	21,070	14,684		69.7%
受益者負担率	受益者負担 B ÷ 支出合計 A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	厳しい家庭環境の子どもたちの学ぶ機会の保障の場となっている(利用者増)。放課後の子どもの居場所となっている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
指定管理に移行後、教室活動の回数増、学習会の実施等「学びの館」として充実している。施設利用者が増加(2,152人)	・教室活動の申込みでは、キャンセル待ちが出る。 ・申し込みたいが、地理的に遠いので通えないと断る家庭も多い。 ・リピーターも多い。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
上記、府の補助事業の21年度廃止に伴い、21年10月1日より指定管理者に管理委託を行う。 箕面市は、22年度より指定管理に移行。	特別教室や指導支援、読書指導など、指定管理者(退職教員)のノウハウを活かした事業により、利用者数が増加。今後、以下に、子どもたちを引き付ける魅力ある事業が展開できるか、期待もこめて課題とする。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )			財務会計上の短縮番号 7110
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	2	5	担当部課名 教育部 生涯学習推進課  担当課長名 谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	水月児童文化センター管理運営事業
財務会計上の事業名	水月児童文化センター管理運営事業
事業の対象(誰(何)を)	主に中学生以下および親子連れ
事業の手段(どうする(させる)ことで)	施設の幅広い利用
事業の目的(どのような結果を得るか)	子ども達および親子連れの人達の交流
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和 46年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	児童文化センター条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		20,546		21,910		20,546		20,546	
内訳	人件費(人・千円)	0.22人	1,292	0.17人	996	0.02人	164	0.02人	127	16.5%
	正職員	0.10人	860	0.08人	672	0.02人	164	0.02人	127	24.4%
	再任用職員	0.12人	432	0.09人	324	0.00人	0		0	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	21,838		22,906		20,710		20,673		90.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源			1,364						0.0%
	一般財源 C	21,838		21,542		20,710		20,673		96.1%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)						
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		利用者数	人	31,484	31,650	32,087		35,000
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	694	681	645		94.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 施設利用者の活用の中心になりつつあり、今後、新たな社会教育活動が展開されるものと期待
---	---	--

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし。	講座を受けた利用者より、学習成果を活用した新たな活動をしたいという要望が出ている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
施設の性格上、民間活力は欠かせない。	夏季休暇中等の開館日数について検討

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )		財務会計上の短縮番号	7120
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	2	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	五月山児童文化センター管理運営事業
財務会計上の事業名	五月山児童文化センター管理運営事業
事業の対象(誰(何)を)	主に小学生以下および親子づれ
事業の手段(どうする(させる)ことで)	施設の幅広い利用
事業の目的(どのような結果を得るか)	子ども達の健全育成と親子連れの人達の交流
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和 48年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成 20年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	児童文化センター条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		18,799		24,410		23,274		23,274	95.3%
内訳	人件費(人・千円)	0.22人	1,292	0.17人	996	0.02人	164	0.02人	127	16.5%
	正職員	0.10人	860	0.08人	672	0.02人	164	0.02人	127	24.4%
	再任用職員	0.12人	432	0.09人	324		0		0	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		20,091		25,406		23,438		23,401	92.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源				1,136					0.0%
	一般財源 C		20,091		24,270		23,438		23,401	96.6%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
		成果指標 (1)						
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	利用人数	人	25,453	34,846	36,977		40,000
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	789	696	634		91.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	科学の館としての事業により、受講者が定着。市内で唯一のプラネタリウム施設としての需要もあり、H22は8千人近くの利用があった。また、大人の行事も参加者の増加がみられ、定着してきている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
利用者数の大幅な増。	親子連れに良い印象を与えている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
施設の性格上、民間活力は欠かせない。	バリアフリー化が進んでおらず、また、エレベーターがないことから、障がい者や小さな子どもの利用に難がある。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 6540
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	3	1	担当部課名 教育部 生涯学習推進課
				担当課長名 谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	社会教育施設管理工事
財務会計上の事業名	社会教育施設管理工事
事業の対象(誰(何)を)	施設利用者(市民)
事業の手段(どうする(させる)ことで)	社会教育施設の計画的な改修工事
事業の目的(どのような結果を得るか)	社会教育施設の改修工事により市民の快適な利用を促進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 33年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第3条～6条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		18,561		31,311		15,330		21,200	49.0%
内訳	人件費(人・千円)	0.11人	946	0.11人	924	0.67人	5,494	0.04人	320	594.6%
	正職員	0.11人	946	0.11人	924	0.67人	5,494	0.04人	320	594.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		19,507		32,235		20,824		21,520	64.6%
財源	国・府支出金				19,583		5,565		11,200	28.4%
	受益者負担 B									-
	その他財源				2,100					0.0%
	一般財源 C		19,507		10,552		15,259		10,320	144.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	工事箇所の管理	課・施設	4	4	6	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		工事箇所の管理	件	4	6	6		5
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	4,876,750	1,758,667	5,218,500		296.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	市民に安全・安心な利用を供給する。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし。	工事施工後、施設利用者からの反応はない。反応がないということは、施設利用に支障がないと言える。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
施設の耐震化等改修が望まれる。	予算で計画的に改修工事を実施しているが、施設の老朽化が激しく、改修箇所が多い。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input checked="" type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 6543
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	3	2	担当部課名 教育部 生涯学習推進課
				担当課長名 谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	社会教育施設管理事業
財務会計上の事業名	社会教育施設管理事業
事業の対象(誰(何)を)	施設利用者(市民)
事業の手段[どうする(させる)ことで]	社会教育施設の計画的な修繕
事業の目的[どのような結果を得るか]	社会教育施設の改修工事により市民の快適な利用を促進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 33年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第3条～6条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	3,284	3,867	3,815	3,708	98.7%			
内訳	人件費(人・千円)	0.11人	946	0.11人	924	0.06人	492	0.04人	312	53.2%
	正職員	0.11人	946	0.11人	924	0.06人	492	0.04人	312	53.2%
	再任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	支出合計 A	4,230	4,791	4,307	4,020	89.9%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	4,230	4,791	4,307	4,020	89.9%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	修繕箇所の管理	課・施設	8	7	12		10
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	修繕箇所	件	23	15	12		20
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	183,913	319,400	358,917		112.4%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	老朽化が著しい施設では、常に修繕が必要
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし。	施設修繕については、改修工事を含め、指定管理者からの要望が強い。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
施設老朽化に伴い、修繕箇所が多くなってきている。	突発的な雨漏り、漏電などが発生し、当初の計画どおりの修繕ができない。指定管理者から修繕の要求があるが、小規模なものは指定管理者にて実施するよう伝えられているものの、十分理解していないように思われる。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )		財務会計上の短縮番号	7050 7055
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5034	4	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	野外活動センター管理運営事業
財務会計上の事業名	野外活動センター管理運営事業
事業の対象(誰(何)を)	青少年団体、家族等
事業の手段[どうする(させる)ことで]	野外活動センターの計画的な施設貸付
事業の目的[どのような結果を得るか]	屋外で宿泊等集団行動を通して青少年の健全育成を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和49年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成    年度 ~ 平成    年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市立野外活動センター条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	484		484		61		71	
内訳	人件費(人・千円)	0.30人	2,580	0.30人	2,520	0.15人	1,000	0.16人	833	39.7%
	正職員	0.30人	2,580	0.30人	2,520	0.10人	820	0.09人	698	32.5%
	再任用職員		0		0	0.05人	180		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.07人	135	-
	支出合計 A	3,064		3,004		1,061		904		35.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,064		3,004		1,061		904		35.3%

指標値	区分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	利用団体数	件	4	4	0	0	0
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	利用者数	人	325	212	0	0	0
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	9,428	14,170	0	0	0.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	今後の施設のあり方について、検討が必要。現在、一般の利用を控えていただいている。
<input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
年々利用者が減少している。22年度より、利用を遠慮願っている。	施設の老朽化等によりほとんど利用が見込めない。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
交通が不便、施設が老朽化し、しかも不衛生で利用者が減少。	施設の問題(老朽化等により使用不可)で一般利用が見込めない。

事務事業評価シート

21年度実施の事務事業 (22年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    )		財務会計上の短縮番号	7061
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5034	5	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年の健全育成
第3期実施計画の事業名	山の家管理運営事業
財務会計上の事業名	山の家管理運営事業
事業の対象(誰(何)を)	青少年、自治会等団体
事業の手段[どうする(させる)ことで]	山の家 of 適正な管理運営を指定管理する。
事業の目的[どのような結果を得るか]	指定管理者による適正な管理運営により、施設の効率的な利用を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和 38年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限    平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)    平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市立山の家条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		7,893		7,841		7,841		7,841	
内訳	人件費(人・千円)	0.22人	1,292	0.17人	996	0.02人	164	0.02人	127	16.5%
	正職員	0.10人	860	0.08人	672	0.02人	164	0.02人	127	24.4%
	再任用職員	0.12人	432	0.09人	324		0		0	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	9,185		8,837		8,005		7,968		90.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	203		142		168		150		118.3%
	一般財源 C	8,982		8,695		7,837		7,818		90.1%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	利用団体数	件	203	189	186	
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	利用者数	人	7,248	6,263	6,681		7,000
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,239	1,388	1,173		84.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	青少年の宿泊研修施設として唯一のもの。毎年、青少年団体等により利用されている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし。	空調機がないため、夏は暑いという利用者からの声が多いと聞く。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
指定管理者制度により施設のサービス化がより顕著になった。	老朽化は否めない。また、冷房設備がないなど、快適性に劣る(恵まれた住宅環境での生活に慣れた青少年には良い経験か?)。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	5034	7	担当部課名	教育部 生涯学習推進課
			担当課長名	谷口 博昭

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	くれば音楽堂管理事業
財務会計上の事業名	くれば音楽堂管理事業
事業の対象(誰(何)を)	利用団体(市民)、呉服小学校吹奏楽部、池田市吹奏楽団
事業の手段(どうする(させる)ことで)	音楽をはじめ各種文化事業、集会等市民の様々な活動の場を提供する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民文化の向上(特に音楽)に寄与
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	くれば音楽堂条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(決算)		23年度(予算)		H22/H21
		事業費(千円)	3,012	2,980	3,400	3,856	114.1%			
内訳	人件費(人・千円)	0.51人	2,692	0.51人	2,656	0.67人	1,858	0.15人	776	70.0%
	正職員	0.18人	1,504	0.18人	1,468	0.06人	512	0.08人	636	34.9%
	再任用職員	0.33人	1,188	0.33人	1,188	0.11人	396		0	33.3%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.50人	950	0.07人	140	-
	支出合計 A	5,704	5,636	5,258	4,632	93.3%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		515	854	600	165.8%				
	一般財源 C	5,704	5,121	4,404	4,032	86.0%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値(H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標(1)	利用団体数	件	-	403	434		500
	成果指標(2)							
D	活動指標(1)	利用人数	人	-	20,882	23,129		25,000
	活動指標(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円		245	190		77.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	主に市民の音楽活動の場として利用されている。有料使用について...昨年度比較で、利用件数は31件、使用料は39.7%増加している。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特記事項なし	駐車場の問題はありますが、利用者にはおおむね好評である。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
市民の学習意欲に様々な角度でサポートできる(学習に関する情報提供、資料教材提供はもとより生涯学習相談にも対応)生涯学習センターが増加。	業務の効率性を図るために、管理業務の一部についてシルバー人材センターの活用を検討中

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	( )	財務会計上の短縮番号 7035
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	5031	10	担当部課名	教育部青少年センター
			担当課長名	上 阪 斉

1 事務事業の概要

施策名	青少年健全育成
第3期実施計画の事業名	1/2成人式開催事業
財務会計上の事業名	1/2成人式開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市内在住の小学4年生
事業の手段(どうする(させる)ことで)	実行委員会による企画・運営
事業の目的(どのような結果を得るか)	10歳を成人までの中間点と位置づけ、それまでの育ちを振り返って祝うとともに、20歳の成人式での再会を誓う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成17年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		971		868		611		617	
内 訳	人件費(人・千円)	0.30人	2,520	0.30人	2,460	0.30人	2,400	0.50人	2,520	97.6%
	正職員	0.30人	2,520	0.30人	2,460	0.30人	2,400	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0	0.20人	720	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.10人	200	-
	支出合計 A		3,491		3,328		3,011		3,137	90.5%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		3,491		3,328		3,011		3,137	90.5%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	参加率	%	56	60	54	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		参加者数	人	533	590	531		615
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	6,550	5,641	5,670		100.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	事業が徐々に浸透してきており、各小学校の協力を得て、年々参加率が上昇している。小学4年生が10歳までの育ちを振り返る良い機会となっている。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
舞台制作費を4割カットし、経費の緊縮に努めた。	様々な出し物やパフォーマンスで10歳をお祝いしてくれ、10歳の思い出づくりにはとても楽しいイベントであり、毎年大変盛り上がっている。参加児童及び保護者の反応も大変良い。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
保護者や学校にも周知され、関心の高まりから実行委員の応募も増加した。	参加率の向上に努める。